

日本人研究者の英語と学会発表

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/4635

日本人研究者の英語と学会発表

Presentation in English by Japanese researchers

金沢大学大学院医学系研究科がん医科学専攻細胞移植学

中 尾 眞 二

今年の8月末に韓国のソウルで国際血液学会がありました。町には至る所にワールドカップの余韻が残っており、サッカー大会に続いて学会も成功させようという韓国人の熱い思いを感じました。関西国際空港の規模をはるかに上回るインチョン国際空港や、アメリカ並の巨大なCoexコンベンションセンター・ショッピングモールなど、驚かされることも沢山ありました。中でも特にショックを受けたのが、若い韓国人医師の英語発表能力の高さです。医学研究の歴史がまだ浅いためか、内容そのものは日本人の研究には及びませんが、英語の発表や受け答えのうまさには感心させられました。私がアメリカのNIHで留学生活を送っていた頃、自分と同じように英語が下手な国民として唯一心の拠り所にしていただいていたのが韓国人でした。数ある言語の中で、主語、動詞、目的語という語順をとらない言葉は日本語とハングルだけであるため、日本人と韓国人の英語が下手なのは仕方がない、と当時から思い込んでいました。しかし、今回の学会で、座長をつとめた筆者の英語とは比べものにならない流暢な韓国人の英語を聞いていて、この考え方は間違っていたことが分かりました。韓国ではハングルの良い医学教科書がないため、多くの医学生は英語の教科書を使っているのだそうです。ある日本の国立大学医学部では、10人ほどの学生を約1ヶ月間韓国の大学に交換留学させているそうですが、やってくる韓国医学生の英語力が、自大学の学生とは雲泥の差があるので愕然とすると、その医学部の教授が言っていました。

この経験と対照的だったのは昨年東京で開かれた国際実験血液学会です。海外から多数の著名な血液内科医・研究者が来日し、レベルとしてはソウルの血液学会よりもかなり高い学会でした。当然ながら口頭発表の機会を与えられた日本人研究者も多数ありました。ただし、私が聞いた発表の中で、外国人からの質問にまともに答えている演者はごく少数でした。答えに窮した演者の代わりに共同演者が答えたり、的外れな答えで会場をしらけさせたりすることがしばしばありました。質問しても議論にならないことがフロアの外国人に分かってくる、セッションの後半には質問が出なくなってしまう

す。よい研究内容を発表しながら、発表に対して批判やコメントを受けられないのは実にもったいない話です。このような状況は、私が国際学会に出始めた15年ほど前からほとんど変わっていないように思われます。何故変わらないのでしょうか？

根本的には読解力重視の中学・高校英語教育に問題がありますが、それ以外に、医学研究者の英語力が向上しない理由は、日本人の英語が下手なのは仕方がないという諦めと甘えのためではないかと思われま。国際学会にまつわるエピソードとして必ず耳にするのが、あの有名なA先生が質問に答えられずに立ち往生したとか、B先生は答えがトンチンカンであったため会場の失笑を買った、などという話です。このような話を聞くと身につまされるのですが、一方であの偉い先生でさえそうなのだから、自分のような者がうまく受け答えできないのは仕方がないという諦めや安心感を生んでいるような気がします。このような「甘え」が今後も引き継がれていくとすると、国際舞台で日本はアジアの他の国から取り残されてしまう可能性があります。

では、このような危機的状態を改善するためには何をすればよいでしょう？さしあたって金沢大学でできる工夫の一つは学部教育の改善ではないかと思えます。臨床医の場合、大学を卒業してから十分な英会話能力を身につけるのはほとんど不可能です。したがって、学部にいる間に英語表現を身につけさせる必要があります。例えば、TOEFLで600点以上を新たに獲得した学生に対しては何科目かの単位取得は免除する、あるいは外国の大学での履修単位を大学の単位と認めることによって短期留学を奨励する、などが考えられます。一方、時間が無い医師においては、日常生活に英語を取り入れない限り、英語で討論する力は永遠に身につきません。大学院生や専修生に対する講義は当然英語で行うべきでしょうし、研究室単位のセミナーやカンファレンスでの討論などは、どんなに稚拙であっても英語で行った方がよいでしょう。研究基幹大学を目指す金沢大学にとって、このような英語を話す環境作りは最重要課題の一つではないかと思えます。